

西本委員（民主県政会）

令和5年3月1日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）児童・生徒の英語力向上について

「学びの変革」推進事業の中学校英語力向上総合対策プロジェクトにおける、「話すこと」調査について、具体的な調査内容と調査結果の活用について、教育長に伺う。

また、生徒の自身のやる気を引き出し、楽しみながら英語学習に取り組めるような工夫について、どのように取り組んでいくのか、併せて教育長に伺う。

（答）

英語でコミュニケーションを図る能力は今後ますます重要となることから、とりわけこれまでの調査で課題の見られた「話すこと」について、重点的に調査を行うことといたしました。

令和5年度に、公立中学校第3学年の生徒全員を対象に実施する英語「話すこと」調査につきましては、特定のテーマについて自分の考えを英語で話し、録音した音声を分析するといった調査方法を予定しております。

調査結果の活用につきましては、生徒の基礎的な英語力の定着状況を把握し、個々の学習状況の改善につなげるとともに、各学校における「話すこと」に関する指導の充実や、県が進める英語力向上に係る施策の参考としてまいります。

また、英語学習につきましては、生徒が意欲を高め、楽しみながら取り組むことが重要であることから、全県を対象として、外国語指導助手いわゆるALTと一緒に、1日、英語のみを使って交流活動を行う、イングリッシュ・デイ等を実施してまいります。

さらに、全ての学校がオンラインで海外の中学校とつながり、一緒に英語授業ができるような仕組みづくりに向け、来年度からモデル校での取組も進めてまいります。